

たぐすい

TAKUSUI
No. 735

1
January, 2018

発行 (一財)兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌



干潟に映る朝日 (たつの市新舞子海岸)

平成30年 年始のご挨拶 JF兵庫漁連 通常総会開催

《今月の海上安全標語》～ 初詣の願い事… ～

本年もよろしくお願ひいたします。

初詣に行かれた方も多いのではないのでしょうか？

大漁と 併せて願う 操業安全

では、今年も安全操業で！



未来への扉を開く

兵庫県知事

井川敏三

新年あけましておめでとございます。
兵庫県政一五〇周年、二〇一八年の幕
が開きました。一八六八年、後に近代日
本の発展を牽引する神戸港の開港に続い
て兵庫県が発足し、一五〇年となります。
今年、本県の行財政構造改革の目標
年でもあります。阪神・淡路大震災や経
済不況で危機に陥った財政の立て直しに
着手して十年。最後の仕上げの時が来ま
した。

この大きな節目を新しい兵庫づくりへ
の転換点にしなければなりません。

これまでの一五〇年は成長の時代でし
た。これからは成熟の時代です。人口は
五十年以上、百年近くは減少します。経
済も右肩上がりの拡大は見込めません。
一人ひとりが夢の実現や豊かな時間の過
ごし方を今以上に求める時代になるはず
です。

今後も活力に満ちた兵庫であり続ける
ため、人口減少、少子高齢化に適応しな
がら、新たな価値観や県民が求める多様
な生き方、働き方に対応できる地域を
創っていく。二〇一八年、そのための新
たな挑戦を始めます。

第一に、未来への道筋を描く。兵庫の
進むべき方向を県民と共有するため、十

年後のめざす姿と、持続可能な県政運営
の枠組みを示します。

第二に、少子高齢化への対応。安心し
て子どもを生育てられる社会づくり、
誰もが生きがいを持って長寿を全うでき
る社会づくりを進めます。

第三に、次代を担う人づくり。人工知
能に置き換えられない創造力や感性を伸
ばす教育に力を入れます。大人の学び直
しや柔軟な働き方ができる環境も整えま
す。

第四に、元気な地域づくり。次世代産
業の育成、農林水産業の基幹産業化、国
内外との交流や芸術文化・スポーツによ
る賑わいの創出に取り組みます。

第五に、社会基盤の充実。活発な社会
経済活動の基礎になる高速道路などの整
備を進め、近い将来起こるとされる巨大
災害への備えにも万全を期します。

ふるさとを愛する県民の皆様と共に兵
庫県政一五〇年を機に新しい地域づくり
のスタートを切る。さあ、力を合わせて
未来への扉を開きましょう。

兵庫県一五〇年迎え

新しいふるさとづくり 持続目指さん

CONTENTS

No.735 January. 2018

- 2 新年のご挨拶
- 7 第42回 JF兵庫漁連通常総会
兵庫県水産系統団体役職員OB会総会
新JF組合長のご紹介
- 8 第1回 乾のり入礼会
網干じばさんひろば 魚吹津 オープン
- 9 平成29年度「ひょうご海の子作品展」作文部門
- 10 税務署から確定申告のお知らせ
- 11 小型船舶におけるライフジャケット着用義務化
いよいよ来月からはじまります
- 12 兵庫JCC通信
- 13 旬に想う
大輪田塾だより
- 14 平成29年度「ひょうご海の子作品展」絵画部門



表紙の言葉

「干潟に映る朝日」(たつの市新舞子海岸)

画像提供 JF兵庫漁連 津田 英幸氏
明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願
いいたします。

表紙の画像は、西日本有数の干潟として知られるたつ
の市の新舞子海岸の干潟に映る朝日の様子です。同海岸
では干潮時、東西約1.5キロ、浜辺から沖へ約500メー
トルの干潟が現れ、日の出と干潮時刻が重なる日が多い1
2~2月に冬の朝日に輝く美しい干潟が見られます。

今年、兵庫の水産業界にとって「ワン」ダブルな
年になればよいですね。

新年のご挨拶



年頭のご挨拶

兵庫県漁業協同組合連合会
代表理事会長

田沼 政男

新年明けましておめでとございます。

年頭にあたり、県内JF組合員の皆様ならびにJFグループの皆様にご挨拶を申し上げます。

さて、本県漁業における喫緊の課題は、内海地区では豊かな漁場再生に向けた取り組みの実現、日本海区は北朝鮮によるミサイル発射および大和堆での違法操業対策等、であります。本会では、これらの課題に対して真摯に取り組んでまいります。

また、組合員の減少傾向が続く中、組合員の営漁を力強く支えることができる漁協組織を目指す組織強化策について、組織検討委員会において議論が始まっております。本会におきましても、平成20年から3次にわたり取り組んで参りました中期経営計画の実践結果並びに、今後10年の予測と課題を踏まえ、持続可能な漁業と組織の構築のため、「第4次中期経営計画」を策

定しました。「漁業の再生」「漁協・漁連の組織強化」「鮮魚流通事業の検討」などの7つの基本方針を掲げ、全力を尽くす決意を新たにいたしましたところであり

ます。さらに、当会が昨年姫路市白浜町に建設したJF兵庫漁連のり加工センターが、1月11日より操業を開始いたします。安心・安全な加工品の生産と、「兵庫のり」の新たなPR拠点となるよう、役員一同取り組みでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

一方平成30年は、兵庫県政が150周年を迎える年にあたり、県当局が中心となり「豊かな海の再生」をテーマにした、水族館での展示イベントが開催されることとなっておりますが、我々JFグループといたしましても、漁場環境を改善するための取り組みについて、県民の皆様にも広くご理解いただき、本県水産業の大応援団になつてい

ただくため、業界をあげてこのイベントに参画して参る所存でございます。

このように、漁業を取り巻く情勢が変化していく中、漁船リース事業や機器導入事業など、漁業者の経営安定化に不可欠な施策が、平成29年度補正予算において継続されることとなりました。これらの事業は、漁業者の期待感が極めて高いものと認識しております。多くの漁業者が利用できるよう、今後とも関係団体と連携を密にし、予算拡大に向け、国へ要望して参ります。

第42期の本会事業におきましては、のり生産が順調に推移したこと、前年度に引き続き計画を上回る実績となり、会員に対して出資配当並びに事業分量配当を実施することができました。これは、ひとえに会員各位を始め、系統団体、関係各位の皆様のご支援、ご協力の賜物であり、改めて感謝申し上げますとともに、役員一同いっそう努力を続ける所存です。

会員各位におかれましては本年も格別なるご理解・ご協力を賜りますとともに、県当局はじめ、関係諸団体のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。本県漁業と皆さまのご繁栄とご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

なぎさ信用漁業協同組合連合会
兵庫県運営委員会委員長

中川 照央

新年あけましておめでとうございま
す。

年頭にあたり、会員並びに組合員の皆
様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より本会業務の運営に格別のご高
配をいただいておりますことにあらため
て厚く御礼申し上げます。

昨年を顧みますと、我が国経済は輸出・
生産の持ち直しで緩やかに成長していま
すが、賃金上昇は緩慢であり、低インフ
レが継続しております。

そのような状況下で、10月の衆院選を
圧勝し発足した第4次安倍内閣は、復興
の加速化、人づくり革命の断行、一億総
活躍社会の実現、世界の中心で輝く日本
を基本方針として取組むことを宣言いた
しました。

また、国内金融機関においては、平成
28年1月にマイナス金利政策が導入され
て以降、日本銀行が進める「長短金利操
作付き量的・質的金融緩和」のもと、利
ザヤ縮小が続いており、3メガバンクに
おいて、大規模な店舗統廃合や人員・業
務のスリム化策が打ち出されるなど、厳
しい金融環境下における事業変革が求め
られております。

本会におきましては、昨年6月開催の

通常総会に於いてご承認
頂きました中期経営計画

に則り、合併初年度であ
る当年度を、運営方法・
事務・業務展開等につい
て、なぎさ信漁連として

のスタンダードを作り上
げる整備・整理期間と位置づけ、「愛さ
る浜の金融機関」を目指し各種施策の

実施に取り組んでおります。
最後になりますが、今後とも役員一
同、水産系統組織の一員としての自覚を
持ち、信漁連の使命である漁業系統金融
の安定的な継続実施と機能発揮に取り組
んでいく所存でございます。

年頭のご挨拶

兵庫県漁業共済組合
組合長理事



川越 一男

新年あけましておめでとうございま
す。

平成30年の年頭に当たり謹んで新春の
お慶びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、漁業における
国際状況では、外国漁船による公海上で
のサンマの乱獲が不漁の一因であるとの
見方があり国際的な資源管理の取組が必
要となっておりますが、特に、我が地元の
日本海側において、北朝鮮のミサイル発
射により沖合漁業の操業が脅かされると
ともに、日本上空を通過することにより
国民が危険にさらされています。

さらに、冬季漁獲戦闘とニュースで報道
されている北朝鮮の木造船が我が国排他的
経済水域にまで入り込んで、我が国漁業者
の漁業操業を妨害する事態の発生やその
木造船が日本沿岸に漂着するなど日本の
安全保障上の問題にもなっています。

このことに関し、我が国
の領土、領海、経済水域の
保全について国の取り組
みが不十分と言わざるを
得ず、漁業者が安心して
操業できる体制をとって
もらえるよう引き続き国
に対して要請していきたいと考えています。
本県における漁業状況は、昨年は一昨
年同様により養殖業や沖合底曳網漁業で
は単価高に支えられ良好な水揚げ金額と
なっており、カキ養殖業は若干成育が遅
れていますが今後遅れを取り戻し堅調な
生産が続くことを期待しています。
船曳網漁業については、イワシ、イカ
ナゴの回遊不振により漁獲量が減少して
おり、品薄感から単価高の傾向が顕著に
なりました。
しかし、漁獲量減の影響が多い地域で
は今後共済金の支払いが見込まれる状況
となっております。

このような漁業状況下で、当組合の法
定準備金が10億円を超えることとなり、
昨年度は契約者及び漁協に対する還元策
として、附加共済掛金率の3%引下げ、
及び事務委託料率を2%から2.3%へ

引上を実施いたしました。引上を
大きく変化しない限りこの還元策を継続
実施していきたいと考えています。

昨年4月に閣議決定された「新水産基
本計画」においては、持続可能な収益性
の高い操業体制への転換や国際競争力の
強化といった課題に取り組む者を「担い
手」として位置づけるとともに経営施策
の重点化を図ること、また、「積立ふらす」
に加入する「担い手」が漁業生産のおお
むね9割を担い、安定的に水産物を供給
しうる漁業構造を達成するとして、「積
立ふらす」は経営対策を超えて「担い手」
の育成・発展に不可欠な施策として位置
づけられています。

このように「ぎよさい」と「積立ふらす」
は、漁業経営の安定対策及び、漁業に大
きな影響をもたらす災害発生への備えと
してますます重要性が増しています。

当組合における「ぎよさい」の昨年末
の金額ベース加入率は3共済（漁獲・養
殖・特定）で87%となっており、水産基
本計画における「担い手」が漁業生産の
おおむね9割を担う漁業構造を達成する
という目標に本県はあと一歩と迫ってい
ます。

本年においても継続契約の確保を最重
点課題として、3共済加入率の90%達成
に向けて役員一丸となって、「ぎよさい
い」と「積立ふらす」の推進に取り組ん
で参りますので、皆様方の絶大なご支
援、ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、今年の豊漁と操
業の安全、並びに皆様方のご健勝とご多
幸を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶
といたします。



新しい年を迎えて

兵庫県農政環境部農林水産局
水産課長

高木 英男

今年が戊戌（つちのえいぬ）の年で、

来にわたり誇りを持って漁業に就くことができると、豊かな海、活力のある漁業、漁村を、次の世代へと引き継いでいくことは、我々漁業に関係する者全員の責任です。

同じ干支となる還暦60年前は、東京タワーが建設された年で、当時いよいよ戦後復興が大きく動きはじめた年にあたります。戊戌は、変化の年と言われ、今年が本県水産業にとっても次の時代へ進む大きな変化の起点となりますことを願って新年のご挨拶とさせていただきます。

ズワイガニ、ハタハタ、ホタルイカ等、重要魚種の漁況予測情報を発信するとともに、漁獲物の品質評価技術開発等に努めます。加えて、今年に新たに漁場環境観測システムを更新し、県内8箇所の水温等のデータをリアルタイムで測定、発信していきます。これからも皆様に役立つ調査研究を実施し、情報発信できるよう鋭意努力してまいりますので、引き続き、ご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新年明ましておめでとうございます。年頭にあたり、皆様方の本年のご多幸を、心よりご祈念申し上げます。

さて昨年は、日本を代表する企業で安全品質に係る不正が相次いで発覚し、大きな問題となりました。つい先月には、同じく日本が世界に誇る高速鉄道、新幹線のぞみで重大インシデントが起り、異常が認識されていたにもかかわらず運行を継続したことで、危うく大事故が起きる恐れがある事態となっていたことなど、今まで日本の経済成長を支え、我々の誇りであった日本のものづくりへの姿勢に、油断や緩み、思い上がりが出てしまっているように感じるのは私だけではないでしょう。

これは、漁業の安全操業や食の安全安心にも繋がることで、我々ももう一度強く気を引き締めて臨んでいかなければならないと思います。

水産業におきましては、政府の規制改革推進会議において水産WGが設置され、水産政策の改革が検討されているところと、改革の方向性として、水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化を両立させ、漁業者の所得向上と年齢バランスのとれた漁業就労構造を確立することを目指すとされており、県としてはこの改革が机上の議論でなく、水産業の現場の思い、実情に添ったものとなることを国に強く進言しているところと、

水産業の現場においては、毎年若い漁業者の方々も参入し、少しずつ代替わりも進んでいます。この若い人達が将



新年のご挨拶

兵庫県立農林水産技術総合センター
水産技術センター所長

堀 豊

新年あけましておめでとうございます。皆様には、清々しく新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年は相次ぐ台風の影響、九州北部豪雨や黒潮大蛇行の発生など、気象が不安定な一年でした。本県の漁業について顧みますと、瀬戸内海の基幹漁業であるノリ養殖業では、平成13年漁期以降の最高となる販売金額となり、日本海においても、沖合底びき網漁業では漁獲量・金額とも、近年にない良好な水揚げが得られました。しかしその一方で瀬戸内海の春の風物詩であるイカナゴのシンコ漁は、残念ながら極端な不漁となり、小型底びき網漁業、但馬のイカ釣り漁業においても、厳しい状況が続いています。

このような中、当センターにおいては本年も「ひょうごの多様性と都市近郊の立地を活かした力強い農林水産業」の実現を支える技術開発・普及に「一所懸命」の覚悟を持って取り組んでまいります。



年頭のご挨拶

兵庫県農政環境部農林水産局
漁港課長

今井 猛

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、清々しい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、7月の九州北部豪雨や度重なる台風の影響など、自然災害による被害が頻発しましたが、水産業の基盤である漁港・漁村についても、安全・安心の確保に対する取り組みの強化が求められています。兵庫県では、近い将来発生が懸念される南海トラフ地震・津波対策として、平成27年6月に策定した「津波防災インフラ整備計画」に基づき、県南部沿岸にお

いて、被害を軽減する耐震・耐津波対策を推進することとしており、漁港関係では、重点整備地区に位置付けています。沼島漁港の港口水門の工事に着手するほか、防潮堤整備や陸揚岸壁の耐震化など、漁港・漁村の安全確保の取り組みを積極的に進めてまいります。さらに、日本海側におきましても、今年度末に津波浸水想定を公表する予定としております。また、皆様方のご尽力により改正された「瀬戸内海環境保全特別措置法」のもと、「豊かで美しい海の再生」の実現を目指して、県独自の取り組みとして「イカナゴを対象とした栄養塩と水産資源との関係性調査・解析」や「下水処理場の季節別栄養塩管理運転の拡大」などを進めることとしており、その成果が期待される所と、

本年も、昨年を引き続き、兵庫県の水

産物を安定的かつ持続的に供給できるよう、①生産活動を支える漁港施設の整備・機能保全、②津波・高潮による被害を未然に防ぐ海岸施設等の整備、③経営安定化に向けた水産加工場やノリ養殖施設



新年のご挨拶

全国漁業協同組合連合会
代表理事会長

岸

宏

新年あけましておめでとうございませす。全国の組合員並びにJFグループの皆様にご挨拶を申しあげます。

昨年は、水産基本計画が5年振りに見直され、我々の喫緊の課題である「浜（漁業）の構造改革」について、浜の活力再生プラン・広域浜プランを柱として取り組んでいくことが位置づけられたほか、特に重要な機能として「漁業・漁村の持つ国境監視機能」が明記されました。

また、JFグループの重点要望である漁船リース事業や機器等導入事業など、構造改革推進のために必要不可欠な施策も平成29年度補正予算において継続措置されるとともに、新たにクログマゴロの資源管理に取り組み休漁等にかかる補償対策を措置することができました。全国の浜で、ご活躍の皆様におかれましては、こうした成果をしっかりと活用され、浜の構造改革と資源管理の取り組みを促進していただきたく存じます。

設等の整備支援など、より一層安全で活力ある漁港・漁村づくりに取り組んでまいりますので、今後とも皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

た。その結果、規制改革推進会議では「水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化を両立させ、漁業者の所得向上と年齢バランスのとれた漁業就業構造を確立すること」を目指して、議論が進められております。基本的な方向性がとりまとめられる本年末まで予断を許しません。



一人ひとりの笑顔のために

全国水産物産業協同組合連合会
代表理事会長

川端 勲

平成30年の年頭にあたり、浜の皆様にご挨拶を申し上げます。

また、JF役員、関係者の皆さまには、日頃からJF共済の事業活動につきまして、多大なるご支援を賜わり心からお礼申し上げます。

はじめに、昨年の台風、豪雨等の自然災害により被害に遭われた全国各地の漁業関係者および地域住民の皆様に対し、衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

最後になりましたが、新しい年も安全な操業が続き、また、皆様方にとって多い年となりますよう祈念いたします。年頭のご挨拶とさせていただきます。

んが、我々が納得できる内容となるよう、今後もしっかりと動向を注視し、対応して参る所存です。

一方、現下の漁業環境は、北朝鮮によるミサイル発射、大和堆での不法操業問題など、課題が山積しております。本会では、全国で推進している構造改革を成し遂げるためにも、今後とも国に対策を強く求めて参ります。

新たな年を迎え、浜プランの高度化の

業の再生」、「水産日本の復活」を柱とした運動方針を定め、浜プラン、広域浜プランを策定・実行し、「プライドフィット・シユ」を展開するなど、また国では水産基本計画において日本漁業の成長

産業化への工程を定め、漁業所得向上に向け取り組むなど、官民あげて漁業構造改革に取り組んでいます。

JF共済は、これら運動・施策に歩調を合わせ、平成29年度を初年度とした3か年計画「一人ひとりの笑顔のために」協同の原点」の運動名称のもと、「JFと組合員との絆を強化し、JF共済の輪を拡大」、「JF・JF共水連が一体となった共済推進体制の整備」、「JF支援態勢およびJF共済の健全性・信頼性の強化」、「元気で活力ある漁村・地域づくりを支援」の各施策に取り組み

ています。

これらの取組みを通じて、前3か年計画から引き継いだ課題であります保有契約量の減少傾向に歯止めをかけるための共済事業量の確保に向け、組合員・地域

ための異業種との連携、広域浜プランに基づく産地市場の統合、施設の集約化などに取り組むほか、新規就業者確保や次世代を担う中核的漁業者の育成なども進めて参りたいと存じます。また、水産物の消費拡大、輸出振興を更に推し進め、日本の水産物の価値を国内外で高めて参ります。

会員をはじめ、関係者の皆様に於かれましては、本会と共に歩みを進めていただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、全国各地でご活躍の漁業者の皆様の操業の安全とご繁栄・ご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

住民一人ひとりの実態に応じた保障を提供することを目的とする全戸訪問活動や保障点検活動を展開し、組合員・地域住民の負託に応えてまいります。

また、継続的安定的な事業基盤を確立するためJF共済事業の健全性強化に取り組む、支払余力（いわゆる「ソルベンシー・マージン」）比率は1318・3%（28年度末）を確保することができました。今後も、一層の健全性強化に取り組むとともに、ご利用者ニーズにあった保障制度の提供に努めてまいります。

JF共済は協同組合運動に根ざしたJFの主要事業として、海に生き、浜に生活する組合員・地域住民の「暮らしの保障」に万全を期すことを通じて、美しい海と漁業を守り、豊かに安心して暮らすことのできる魅力ある漁村・地域づくりに貢献することをめざします。

これからも、このJF共済の理念のもと、組合員・利用者の皆さまに「安心」と「満足」をお届けできるよう努めてまいりますので、引き続きご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



挨拶を行う田沼会長

JF兵庫漁連 第42回 通常総会 開催される

12月8日(金)、神戸市内のホテルにおいて、JF兵庫漁連(田沼 政男会長・JF林崎)の第42回通常総会が、県農政環境部農林水産局 寺尾 俊弘局長、農林中央金庫大阪支店 松永 諭支店長をはじめ、多数のご来賓のご臨席のもと開催されました。

開会にあたり、田沼会長が「漁業者の高齢化と減少、水産資源の減少等、漁業をとり巻く環境は、依然として厳しい状況が続いている中、本県においては、漁協や系統団体の効率化と合理化を進め、組合員の営漁を力強く支えるために、組織検討委員会を立ち上げ、組織強化策についての検討が始まっております。また、本会においても、第4次中期経営計画を策定して、持続可能な漁業と組織の構築に取り組んで参ります。」と挨拶し、続いて来賓として、寺尾局長及び松永支店長から祝辞がありました。

第42期の事業実績は、ノリ養殖が順調に推移したことから、購買事業・販売事業のほとんどで計画を上回り、事業総取扱高252億2百万円、事業利益2億3千6百万円(計画対比1億3千5百万円増)、経常利益2億4千万円(計画対比1億4千9百万円増)となり、事業報告など全議案原案通り承認されました。(文：JF兵庫漁連)

平成29年度 兵庫県水産系統団体

役員OB会総会

11月18日(土)、神戸市内のホテルにおいて「平成29年度兵庫県水産系統団体役員OB会総会」が開催され、会員28名が出席しました。

開会にあたり、出席者一同は、この一年間に亡くなられた会員に対して黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りいたしました。その後、田尻幹事長より「年々、参加者が少なくなる中、今年は、多くの方が参加されており、うれしく思います。今後も一人でも多くの方の参加をお願いします。年に一度の懇談の場なので、大いに旧交を温めてもらいたい」と挨拶をされました。続いて、来賓のJF兵庫漁連 田沼政男会長から祝辞がありました。田尻幹事長が議事進行を行ない、議案の収支決算報告及び収支計画は原案どおり承認されました。また、幹事の改選では、7名の幹事が選出され、戸田新幹事長から、「OB会を盛り上げていきます。」と挨拶がありました。



参加者全員での記念撮影

続く懇親会では秋武宏氏の乾杯の音頭により幕が上がります、終始和やかな雰囲気の中、時間の経過も忘れて歓談がすすみました。最後に岡本副幹事長から「元気で、また来年会いましょう」と力強い閉会の挨拶があり、懇親会は終了いたしました。(文：JF兵庫漁連)

新幹事の皆様(敬称略)

幹事長…戸田氏懿、副幹事長…山里昌行、会計担当幹事…富永剛行、幹事…山口徹夫、北 慶三、奥田博己、榎並晴広

新JF組合長のご紹介

平成29年3月～6月に新たにJF組合長に就任された方の御名前をご紹介します。

- JF神戸市 福田一義組合長(3月23日就任)
- JF但馬 村瀬晴好組合長(6月18日就任)
- JF津名 中川雄二組合長(6月24日就任)



福田一義組合長



村瀬晴好組合長



中川雄二組合長

第1回乾のり入札会を開催 宮内庁への献上ノリも決定！

本格的な冬の到来を感じさせる季節となり、全国各地ではノリの入札会共販)が始まっています。

全国有数のノリ生産量を誇る兵庫でも、JF兵庫漁連(田沼 政男会長・JF林崎)が、臨時共販(12月11日)に続き、12月18日(月)には第1回共販をJF兵庫漁連のり流通センター(加古郡播磨町)で開催し、昨年より多いノリ入札商社45社の約130人が集まり、見本のノリを手に次々に品定めをするなど、共販会場は活気に包まれました。

この日挨拶に立ったJF兵庫漁連 田沼 政男会長は、「お陰さまで第1回目の共販を開催することが出来ました。昨年同様に御負担いただきたい。ノリ養殖には欠かせない豊かな海の取組みについては、今後、行政や関係機関と連携してよりよい環境を目指し、

商社の皆様のご期待に応える兵庫ノリの生産に努めたい。」と話されました。続いて、兵庫海苔入札指定商組合 松谷 晃理事長(松谷海苔(株)社長)は、「今年も高値傾向であるがノリ産業の将来のため、生産者の経営が成



出品された色艶のある「兵庫のり」

(第1回乾のり入札会：結果)

共 販 枚 数	3,185万枚
共 販 金 額	4億7,128万円
平 均 単 価	14円75銭
最 高 値	42円00銭

り立つような価格の維持も必要。兵庫には高品質なノリの潤沢な生産を望んでいる。」と挨拶をされ、兵庫におけるノリの安定的な生産に期待を寄せられました。

今漁期の入札会は全15回(12月11日開催の臨時共販を含む)が予定されており、最終共販日は5月8日(火)となります。

ます。いよいよ始まったノリ養殖。今漁期の順調な生産と安全操業を祈念いたします。

また、本年度の宮内庁への献上ノリを決める審査会が、12月17日(日)JF兵庫漁連のり流通センターで行われました。JF兵庫漁連の田沼会長ら審査員により、候補のノリの色・艶・味などの項目で評価した結果、東播地区の新ノリが選ばれました。

このノリは、毎年漁連会長の手で宮内庁に献上しており、今年も21日(木)、田沼会長により宮内庁に持参献上されました。



松谷理事長



挨拶に立った田沼会長

網干じばさんひろば 魚吹津 オープン ～JF姫路市網干支所～



式典の様子

平成29年11月25日(土)、播磨灘の海の幸が楽しめる新しいグルメスポットとして姫路網干港に「網干じばさんひろば魚吹津(うすきつ)」がオープンしました。

地元で水揚げされた新鮮な水産物、農産物、加工品が購入できるほか、鉄板料理店・イタリア料理店・海鮮丼などのレストランがあり、同地区で取り組んでいる養殖力キのブランド化の推進、特産品や加工品を周知し、地域交流の活性化を図る基地として期待されています。

場所：姫路市網干区興浜2093
—133、TEL 079-274-0304 (JF姫路市網干支所)

平成29年度 「ひょうご海の子作品展」 作文部門 受賞者決定!!

JF兵庫漁連とJF兵庫女性連は、輝く未来を担う小中学生に、海を愛し、美しく豊かな海を守る事の大切さと漁業に親しむ心を育てもらうため、「ひょうご海の子作品」(絵画・作文)を県下の小中学生を対象に募集し、作文62点、絵画1,783点のご応募をいただきました。

12月6日に作文部門、11月20日に絵画部門の最終審査会を行い、受賞作品が決定いたしましたので、その一部をご紹介します。

(絵画部門は14ページに掲載しています)

【作文部門】

(敬称略)

賞名	学校名	学年	氏名	題名
兵庫県知事賞	芦屋市立朝日ヶ丘小学校	4	池之上優太	ほしダコ作り体験をして
兵庫県教育長賞	淡路市立学習小学校	4	井筒 雛那	わたしたちの海
JF兵庫漁連会長賞	淡路市立学習小学校	1	相田くらら	えびのカレーがだいすき
	淡路市立学習小学校	6	沖 心夏	大好きな海を守りたい
JF兵庫女性連会長賞	明石市立明石小学校	6	安井 彩夏	大切な海
	たつの市立御津中学校	2	神頭 杏奈	懂れる海
JFなぎさ信漁連理事長賞	淡路市立石屋小学校	6	森 彩音	一人一人にできること
	淡路市立石屋小学校	6	門 帆乃美	海の宝石
農林中央金庫大阪支店長賞	淡路市立学習小学校	1	太田 陽介	ぼくのおじいちゃん
	淡路市立学習小学校	6	船本 愛斗	海の未来

※紙面の都合上、佳作は紹介しておりません。

- ・JF兵庫漁連HPで、兵庫県知事賞と兵庫県教育長賞の作文を掲載予定!
- ・2月下旬頃に、優秀作品を掲載した“ひょうご海の子作品集”を発刊予定です。

＜兵庫県知事賞＞

ほしダコ作り体験をして

芦屋市立朝日ヶ丘小学校 4年 池之上優太

ぼくは、マリンスクール当日早起きし、電車に乗りこみました。すま駅をすぎるとまどから海が見え始めます。ぼくは、この景色が大すきです。キラキラかがやく海にどんな魚が泳いでいるか考えるだけでワクワクします。

ぼくは、夏休みに兵庫県漁業協同組合連合会がしている親子マリンスクールの明石コースに参加しました。マリンスクールでは、ほしダコ作り、アジの三枚おろし、ちりめんモンスタースターがしをしました。ぼくは明石の魚のたなお店でしかほしダコを見たことがなかったので、ほしダコは、どんなふうにするのか不思議でした。ほしダコは生きたままのタコをつかまえて、神けいを切り、おなかをさつら返し、内ぞうを取り、ほう丁を使って開き、左右の足に竹ぐしをさして、足をハランヌよく広げて、天日にほします。

今回生きたタコをつかまえるのは、とてもかんたんでした。その理由は昨年マリンスクールのたる水コースに参加し、タコや魚のつかみどりをしたことがあったからです。その時、魚の目を手でおおうとなしくなったので、今回は、同じ方法をタコにも使ってみました。タコが泳いだしゅん間に目を手でおおうとタコもおとなしくなり、ねらっていた大きなタコをいっばつでつかまえることができてとてもうれしかったです。

ぼくがほしダコ作りの中で、一番楽しかったのは、タコをつかまえて神けいを切るところです。ぼくは、お母さんといっしょにタコの神けいを切るうとしましたが、つかまえたタコは神けいを切っても切ってもいっしゅん色かわるのですが、水につけるとまたすぐに生きかえり神けいを切るのが大へんでした。あと、タコの左右の足を竹ぐしを使ってピンとはるのがおもしろくて漁協の方たちに手伝ってもらうと、いっきにカッコいいほしダコに仕上がりました。何度も練習をすると上手になるそうです。ほしダコ作りは必ずかかったけど、とても楽しかったです。

親子マリンスクールでは、兵庫県の漁業の話も教えてもらいました。その中で、漁しさん達がタマゴをうむ前のガザミのこうらにとるなと書いて一度海にもどし、さんらん後だつびをしたあとに取るという取り組みをしていると聞いてビックリしました。何百ものタマゴを守ることで、しょう来もガザミがとれるように工夫しててすごいなと思いました。この他にも海をゆたかにするために、森をゆたかにしなければいけないという話もききました。ぼくは魚のち魚の放流をしたり、森に木を植える取り組みにも参加して、海に魚をふやして大切にしていきたいです。

税務署から

確定申告のお知らせ

🐾 申告会場は2月16日からです。

🐾 相談受付は午後4時までです。

混雑しだいで早めに受付を終了します

2月15日までは
準備中! でも
提出はできるニャン



医療費控除が変わりました

～平成29年分の確定申告から～

🐾 領収書の提出は不要!
(領収書は自宅で5年間保存!)

代わりに

🐾 医療費の明細書の添付が必要!
(明細書は国税庁ホームページでダウンロード可能!)



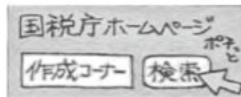
申告書の郵送
提出もしやすく
なったワーン!

～作ってみよう申告書～

🐾 おうちのパソコンや
タブレット端末等から
作成することができます。 **有料**

🐾 コンビニで印刷できます。

🐾 提出は郵送をおすすめします。



タブレット
端末等も
お持ちの方は
こちら

申告の際には

マイナンバーの記載+本人確認書類の提示 又は **写しの添付** が必要です

※e-Taxで提出する場合は、本人確認書類の提示又は写しの添付は不要です

申告と納税

所得税および復興特別所得税の確定
申告の窓口での相談・申告書の受付は、
平成30年2月16日(金)からです。

所得税および復興特別所得税・贈与税

消費税および地方消費税(個人事業者)

平成30年

3月15日(木)まで

平成30年

4月2日(月)まで

事業税・住民税の申告期限
平成30年3月15日(木)まで

確定申告書の作成に当たっては、「復興特別所得税額」の記載漏れのないようご注意ください。

大阪国税局・税務署

小型船舶におけるライフジャケット着用義務化 いよいよ来月からはじまります。(2月1日スタート!)

小型船舶に
おけるライフ
ジャケットの
完全着用義務
化まで残りわ
ずかとなりま
した。

平成30年2
月1日から、
小型船舶の船
長は、原則、
すべての乗船
者にライフ
ジャケットを
着用させるこ
とが義務にな
り、着用させ
ないと違反に
なります。

違反した船長には違反点数が課せら
れ、最大で6カ月の免許停止となります。
もちろん、従来からの一人乗り漁船で
漁労に従事する者についても同様となっ
ております。

なお、違反点数については、義務化が
拡大された対象者については平成34年2
月1日から課せられますが、従来から義
務化となっていた一人乗り漁船につい
ては、従来通り課されますので注意くだ
さい。

遵守事項違反点数

違反の内容	点数	他人を死傷させた場合
酒酔い等操縦 自己操縦義務違反 危険操縦 見張り実施義務違反	3点	6点
ライフジャケットの非着用 発航前の検査義務違反	2点	5点

行政処分基準

		過去1年以内の違反累積点数			
		3点	4点	5点	6点
過去3年 以内の 処分前歴*	無	処分の対象外		業務停止 1か月	業務停止 2か月
	有	業務停止 3か月	業務停止 4か月	業務停止 5か月	業務停止 6か月

※処分前歴とは、遵守事項違反等による処分又は海難審判所の裁決による操縦免許に係る処分の前歴をいう。

● ライフジャケットの種類

国が安全性を確認した証である桜マー
クのあるライフジャケットを着用して下
さい!

軽く着けやすいものなど多くのライフ
ジャケットが販売されております。

また、JF兵庫漁連で販売してしまし
た「浮力合羽」を改良した「救命合羽」
も桜マークを取得しました。

救命胴衣の購入申込・お問い合わせ
につきましては、JF兵庫漁連資材部
(TEL:078-942-9272)へ



膨張式・固型式など種類は様々あります。



桜マークを取得した救命合羽

平成29年12月号発行の拓水734号で下記について標記に誤りがありました。
関係者の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しました。ここに訂正して、お詫び申し上げます。

お詫び

3頁 平成29年度 兵庫県水産賞 表彰式 画像下部

(誤) 受賞者の皆様 (左から濱野様ご夫妻、濱本様、播磨様ご夫妻)

(正) 受賞者の皆様 (左から濱野様、濱本様ご夫妻、播磨様ご夫妻)

組合員と地域からの支持と信頼を JA大会決議実践フォーラムを開く

JA兵庫中央会は12月14日（木）、神戸市内の県農業会館で、兵庫県JA大会決議実践フォーラムを開き、県内JAグループの役職員約70人が参加しました。組合員と地域に支持され信頼されるJAグループ兵庫をめざして、第33回兵庫県JA大会決議を着実に実践し、自己改革の成果をあげることが目的です。

はじめに、中央会の浜田充専務理事が、他国との経済連携協定の状況や規制改革推進会議の動向など、農業及びJAをめぐる情勢について説明しました。また、JAの自己改革に関するアンケート調査や全JA調査の結果をもとに、改革の成果を組合員、とくに担い手農業者に評価される課題があることを報告しました。

事例発表では、静岡県・JAとびあ浜松の森下安則代表理事理事長が「未来の地域農業のために」と題し、営農部と金融部の事業間連携や、農家の意向調査を踏まえた担い手支援訪問活動の強化によって農業所得を高め、JA販売事業を増大させた取り組みを話しました。

また、有限責任監査法人トーマツ水谷成吾シニアマネージャーが「JAを取り巻く環境とJAの目指すべき姿」と題して講演を行いました。



基調報告をする浜田専務

<http://ja-grp-hyogo.ja-hyoinf.jp/>

「協同シンポジウム2017 in ひょうご」を開催

11月25日（土）、兵庫県農業会館において、兵庫県生協連・近畿労働金庫兵庫地区統括本部主催「協同シンポジウム2017 in ひょうご」を開催し、生協・近畿労働金庫の役員と職員や組合員、NPO等市民団体など約200人が参加しました。「協同シンポジウム」は、近畿労働金庫と近畿府県連との共催で毎年開催され、5回目となる今回は兵庫で行われました。「多様な助け合いの力が社会を変える」をテーマに生協・労福協の歴史を振り返りこれからの共生社会づくりに向けて地域での連携について講演と鼎談がありました。日本生活協同組合連合会 浅田 克己顧問は「私達の事業や運動の中に様々な助け合いや連携のエピソードがある。エピソードを共有することで次の社会での役割を考えるアイデアが生まれる」と話され、労働者福祉中央協議会 高橋 均アドバイザーからは「運動と事業の両立は難しいが協同組合の宿命。協同組合の原点を繰り返し学習することが大切」と話されました。参加者からは、「社会情勢から協同組合が果たすべき役割はまだたくさんあることを再認識できました」「理屈で人は変えられない。感動が人を変える。これから何をすべきか考えるきっかけができました」などの感想が寄せられました。



鼎談

<http://www.coop-hyogo-union.or.jp/>



旬に想う

写真と文
遊方子

緊禪一番

◆大相撲は日本の国技である。日本相撲協会が設立八十周年を迎えた平成17年の記念式典で、時の首相が「国技が今や国際技になった」と挨拶した通り、当時は最高位の横綱はモンゴル出身力士だったし、大関もモンゴルとブルガリア出身の力士で、他に中国・韓国のアジア勢やロシア・エジプト・ブラジル・エストニア出身の力士がいた。実に3分の1近くが外国出身の力士たちであった。思わず日本人よ頑張れと言いたくなったものだ。最近の場所で、茨城県出身の《紀勢の里》が優勝して横綱へ昇進した。大相撲人気は連日「満員御礼」の垂れ幕が下がり大いに賑わう。日本人は相撲への憧れが常に根強いのである。

◆横綱の免許状には「品格力量抜群につき横綱に推挙する」とある。成績優秀な上に《品格》が重要視される。横綱が暴力を奮い同僚力士に怪我を負わせるなどは論外だ。勝負を行う土俵は、毎場所の五日前に新しく造る。昔から粘土質で乾燥の速い荒木田土が用いられたが、品不足の現在はそれに近い土質のもの約8トンを使って、呼び出し40人ほどが「タコ」や「大タタキ」で堅く固めての手作りである。土俵の直径十五尺(四五センチ)に中心を求めて円を描く。円の外側に溝を掘り、勝負俵16個と徳俵4個を6分埋め4分を地表に出す。俵は稲藁を叩いて柔らかくし、手編みしたものだ。寸分違わぬ丸味を出すため、大変な努力を払うという。神様を土俵に迎える儀式のためには手間暇をかける。

◆土俵は聖域なのである。神迎えや神送りの儀式が大相撲には非常に重要となる。伝統芸能の要素も強く残しており、勝負は礼に始まり礼に終わる。お互いに会釈を交わし相手を思いやる。此の様式美こそが大相撲なのだ。そして土俵は女人禁制である。どこかの女性知事が「ナゼ、土俵に上がれないノ」と嘯みついたが、軽く往なされた。当然のことである。千二百年の歴史ある伝統の重みを理解すべきだ。肅々と営まれて来た儀式が、そんな諫言で簡単に覆える訳がない。男女同権や共同参画を持ち出すのは、何か方向が違っていると思う。

◆大相撲は番付が全てで、横綱から序の口まで本場所の成績で序列が決まり待遇も異なる。幕下以下は場所手当や奨励金は支給されるが、基本的に無給であり、入幕すれば月給や力士褒賞金も貰えて処遇は一変する。聖域上で戦う男だけの世界は、極めつきの序列社会なのだ。千秋楽、賜杯を授与する官僚が、平服やクールビズ姿で土俵に入るは誤っている。聖域は心の潔斎をし正装装束で臨むべきだ。または表彰式は神送りの後で行う事とすべきだと思う。緊禪一番、熟慮を要する事柄だ。禪を絞め直し、清い塩を撒いた土俵で熱戦を期待したい。

大輪田塾だより



JF兵庫漁連についての講義の様子



ひょうご豊かな海づくり協会についての講義の様子

「兵庫県漁業協同組合連合会の事業概要について」と「ひょうご豊かな海づくり協会の概要と栽培漁業について」

12月19日(火)に大輪田塾が開講されました。

第1部の「兵庫県漁業協同組合連合会の事業概要について」では、JF兵庫漁連 田中 稔彦参事より、協同組合と株式会社との違いやJF兵庫漁連の組織や事業内容について説明されました。また、瀬戸内海環境保全特別措置法の一部改正と、豊かな海の再生に向けた活動の必要性について話されました。

第2部の「ひょうご豊かな海づくり協会の概要と栽培漁業について」では、ひょうご豊かな海づくり協会 山村 雅雄専務が、同協会の成り立ちや事業概要説明のほか、栽培漁業の基本的な考え方や種苗生産の現状と効果評価について話されました。

塾生からは、JF兵庫漁連の事業概要や放流種苗の効果等について質疑や意見が述べられ、活発な意見交換が行われました。

平成29年度 「ひょうご海の子作品展」 絵画部門 受賞者決定!!

9ページに掲載しています「ひょうご海の子作品展」の絵画部門で入選した皆さんをご紹介します。

【絵画部門】

(敬称略)

賞名	学校名	学年	氏名	題名
兵庫県知事賞	加古川市立鳩里小学校	3	小川 折平	魚のむれ
兵庫県教育長賞	神戸市立こうべ小学校	2	石原 澄也	地びきあみ
JF兵庫漁連会長賞	洲本市立鳥飼小学校	1	大橋 大翔	たこのふね
	洲本市立洲本第一小学校	6	山岡 晃大	地引網
JF兵庫女性連会長賞	新温泉町立浜坂西小学校	5	山田 奨悟	高い値段で売れますように
	たつの市立室津小学校	4	中川 琴未	魚をさばく人
JFなぎさ信漁連理事長賞	加古川市立野口南小学校	5	須藤 光一	あみで魚を取る漁師さん
	淡路市立塩田小学校	3	福岡 詩隆	魚たちが泳ぐ海
農林中央金庫大阪支店長賞	たつの市立御津小学校	2	井上 夢彩	室津夏越し祭りの船送り
	播磨町立蓮池小学校	6	佐伯 和香	今年も大漁

※紙面の都合上、佳作は掲載しておりません。

- 平成30年2月～平成30年3月末日(土日祝日を除く)頃、兵庫県水産会館1階で受賞作品の展示会を開催予定!近くへお越しの際は一度見学してみてください!
- JF兵庫漁連HPでも受賞作品を掲載予定! (<http://www.seat-sakana.net/>)



<兵庫県知事賞> 魚のむれ

加古川市立鳩里小学校 3年
小川 折平さん



<兵庫県教育長賞> 地びきあみ

神戸市立こうべ小学校 2年
石原 澄也さん

